

全国知事会 国の行財政改革評価研究会 中間報告を取りまとめました

全国知事会 国の行財政改革評価研究会（座長：田中康夫長野県知事）の中間報告書を下記により取りまとめ、公表するとともに、全国知事会議において報告しました。

記

1 設置趣旨

国と地方を合わせた長期債務が700兆円に上る中、地方自治体は、国に先んじて、血の滲むような行財政改革に積極的に取り組んできたが、一方、政府は、「三位一体の改革」に名を借りて、地方の大きな負担の上に国の財政再建を行っている。

こうした中、国は自ら身を切るような行財政改革の努力を行っているのかどうかを評価し、不十分な点があれば、より迅速かつ強力な改革を自ら断行するよう提言する。

2 構 成 員

浅野史郎	宮城県知事
安藤忠恕	宮崎県知事
田中康夫	長野県知事（座長）（五十音順）

3 開催経過

平成16年 5月11日	国の行財政改革評価研究会設置・座長選任
7月14日	第1回研究会
8月19日	第2回研究会
10月26日	第3回研究会
12月14日	第4回研究会

中間報告書公表、全国知事会議において報告

4 中間報告書

「中間報告のポイント」参照
「中間報告書」参照

5 今後の予定

平成16年12月 ～平成17年1月	全国都道府県調査結果を報告書に反映
平成17年 3月	第5回研究会（最終報告書取りまとめ） 行財政改革懇談会の開催（3県知事と有識者との懇談）